アグロ カネショウの GLOBALG.A.P. 認証取得支援サービス

どこまでも農家とともに
先陣を切って進む――

アグロ カネショウは「どこまでも農家とともに」をモットーに現場密着型の農薬の技術普及活動と販売をおこなっております。様々な角度から農家のみなさまのお役に立ちたく、国内農業の強化や発展、次世代を担う農家のみなさまのお手伝いとして GLOBALG.A.P. 認証取得支援サービスをおこないます。

GLOBALG.A.P. は FoodPLUS GmbH の登録商標です

AGRO-KANESHO

GLOBALG.A.P. 認証とアグロ カネショウ

GLOBALG.A.P. 認証では、200 項目以上の各種要求事項の中で農薬や肥料の保管、使用についても重要な項目が複数あります。
アグロ カネショウは GLOBALG.A.P. 認証支援を通じて、農薬の安全管理と適正使用に関する情報提供を行っていきます。

農薬保管における一例

❶ 鍵がかかる設備
❷ 毒物劇物の掲示
❸ 屋内保管
❹ トレーの設置

薬剤防除における一例

❶ 薬剤の効果を最大限発揮する防除
　－展着剤による効果安定化
　－初期防除
❷ 抵抗性リスク考慮した防除
　－薬剤系統の熟知
　－予防剤の利用（銅剤、BT 剤等）

薬液調製における一例

❶ 秤の較正
❷ バケツの利用
❸ 適正な混用手順
❹ 事故発生時の手順の掲示
❺ 漏出防止用の対策
　（ほうき、チリトリ、砂）

服装における一例

❶ ゴーグル
❷ 農薬用マスク
❸ 手袋
❹ 防除衣（帽子含）
❺ 長靴

なぜ必要なのか？どうしたらリスクを低減できるのか？
理由を理解して取り組むことが GLOBALG.A.P. では重要です。
考えてみましょう！

着手から認証取得までのイメージ

・着手から約半年～ 1 年前後が目安です。
・審査費用は約 40 万円程度要します。

勉強会 → 整備・運用 → 内部検査 → 是正 → 本審査 → 是正 → 認証取得

認証取得支援事例

コンサルティング会社指導の下、認証取得支援を行い、４件の生産者団体が認証を取得することができました。（２０２２年１０月現在）

長崎県　レタス生産法人　㈱マルヨシ様
2019 年 12 月着手→ 2020 年 12 月認証取得
アグロカネショウは認証支援はもちろん、土壌分析による圃場診断や薬剤防除の相談にものってくれたり、技術情報を提供してくれて非常に助かっている。

愛知県　いちご生産農家　くぼ苺農園様
2020 年 4 月着手→ 2021 年 5 月認証取得
https://kuboichigo.com/
新規就農して５年目で認証を取得。耕作放棄地からいちご栽培を開始。就農時から土壌改良や除草、栽培に関してアドバイスをもらっている。G.GAP 認証は非常に難しいイメージを持っていたが、AK とのつながりの中で手に届くようなものと認識できた。今後、認証取得を加工品の展開や輸出、雇用創出につなげていきたい。

静岡県　茶生産法人　㈲グリームみなみ様
2017 年 6 月着手→ 2021 年 8 月認証取得

14 人のグループで生葉生産と荒茶加工を行っている。
グループ認証形式※や時勢の変化のため認証までの道のりは課題が多かったが、AK の親身な支援で認証を取得することができた。
高齢の生産者が多い中、G.GAP に取り組む意義や要点をわかりやすく指導してくれた。認証を機に茶の輸出の本格化および産地のモデルとなれるように一層の努力を行っていきたい。

※グループ認証（オプション２）生産者団体で取得ができる認証。取得には管理部門と生産者個別の審査を要する。

よりよい認証支援に向けて

- 審査に必要な資格要件（内部検査員）や GLOBALG.A.P. の仕組みを熟知した GLOBALG.A.P. 認定トレーナーを複数名有しております。
- GLOBALG.A.P. 認証では、土壌や水質、残留農薬等に関する管理点において「分析の実施による評価」が欠かせません。アグロ カネショウでは土壌分析サービス※を通じて土壌の化学性、生物性の分析および診断が可能です。

※有料　詳細は QR コードまたは別途チラシをご参照ください。

「 どこまでも農家とともに 」を第一に認証支援を行ってまいります。

GAP とは？

GAP（Good Agricultural Practice: 農業生産工程管理）とは、農業において食品安全、環境保全、労働安全等の持続可能性を確保するための生産工程管理の取り組みのことです。
また、実践することで世界的な課題となっている持続可能な開発目標（SDGs）の達成にも貢献できます。

GLOBALG.A.P. とは？

数多くある GAP の中でも世界 130 ヵ国以上に普及し、世界的に最も普及している GAP 基準です。欧米の大手小売をはじめ、最近では日本の小売や加工メーカーでも、GLOBALG.A.P. などの国際認証を取得した生産者からの仕入れを優先しています。

なぜアグロ カネショウは GLOBALG.A.P. 認証取得支援サービスを始めたのか？

当社は「どこまでも農家とともに」をモットーに現場密着型の技術普及活動と販売を行っています。このような中、農家の方々に今後の生産環境変化への対応、また農薬管理や安全使用を徹底していただくために、国際認証のひとつである GLOBALG.A.P. 認証取得支援の活動を始めました。

化学性分析

一般分析：ｐＨ、ＥＣ、交換性石灰、交換性苦土、交換性加里、硝酸態窒素、アンモニア態窒素、
有効態リン酸、腐植、塩基交換容量、リン酸吸収係数
微量要素（鉄、マンガン、銅、亜鉛）
全窒素・全炭素

生物性分析

線 虫 密 度：ネコブセンチュウ、ネグサレセンチュウ、ダイズシストセンチュウ
土壌病害密度：ナス科青枯病＊、タバコ立枯病 、フザリウム病害 、ピシウム病害、ショウガ根茎腐敗病＊、
ネギ類黒腐菌核病＊、アブラナ科根こぶ病＊、キャベツ バーティシリウム萎凋病（群馬県のみ可能）
＊はヘソディム（健康診断に基づく土壌病害管理）マニュアルを参考に診断しています。

土壌分析に関するお問い合わせは、アグロ カネショウ土壌分析室 0296-21-3108
GLOBALG.A.P. に関するお問い合わせは、アグロ カネショウ技術普及部 04-2003-7004